

再考 コミュニティ・デザイン



今日、コミュニティ・デザインに対する注目が集まっている。甚大な被害をもたらした東日本大震災、人口減少と衰退に悩む地方小都市、希薄化する地域共同体など、我が国において、これまで以上に人々のつながりを重視したまちづくりや公共空間の形成が求められている。本シンポジウムでは、アメリカにおけるコミュニティ・デザインの先駆者であるランドルフ・T・ヘスター、マーシャ・マクナリー両氏、さらに同じく日本の先駆者である土肥真人氏を迎え、コミュニティ・デザインの可能性を再考し、我が国の進むべきまちづくりの方向性を展望する。

2011年11月11日 | 金 | 18:00 ~ 20:30 (開場 17:30)
福岡大学 A 棟 AB01 教室 申込不要・先着順・参加費無料・逐次通訳

問い合わせ先/福岡大学工学部景観まちづくり研究室准教授柴田久/担当:石橋悠/TEL:092-871-6631(内線6484) FAX:092-865-6031(共通)
E-mail: hisashi@fukuoka-u.ac.jp/主催:福岡大学工学部社会デザイン工学科景観まちづくり研究室/後援:風景デザイン研究会

■パネラー



ランドルフ・T・ヘスター Randolph T.Hester

ヘスター氏はカリフォルニア大学バークレイ校ランドスケープ・アーキテクチャ&環境計画学科の名誉教授であり、センター・フォー・エコロジカル・デモクラシーの共同創立者、コミュニティ・ディベロップメント・バイ・デザイン事務所の主宰である。景観・都市づくりにおける市民の直接参加を実現。ランドスケープ・アーキテクチャにおいて数々の賞を受賞している。特に彼の複合的な公共空間デザインは国際的に高い評価を得ている。最近の著書「Design for Ecological Democracy」は、米国設計・建築部門の年間最優秀出版物となり、ポール・ダビドフ賞を受賞した。彼の1981年の著作「Community Design Primer」は我が国における住民参加型まちづくりに従事する研究者、実践者に多大な影響を与え、近年では絶滅危惧種であるクロツラヘラサギの生息地を守る環境保護団体 SAVE International を設立、台湾、韓国をはじめ、世界的な活動とともにその成果が注目されている。



マーシャ・マクナリー Marcia McNally

マクナリー氏は、センター・フォー・エコロジカル・デモクラシーの共同創立者であり、カリフォルニア大学バークレイ校ランドスケープ・アーキテクチャ&環境計画学科の特任教授兼コミュニティ・ディベロップメント・バイ・デザイン事務所のパートナーである。SAVE International の共同設立者であり、太平洋を越えて協働するための体制づくりを行っている。策定したロサンゼルス川流域における都市の野生生物保護区プランは2007年EDRA(米国環境デザイン学会)プレイス・デザイン賞を受賞。また、Democratic Design in the Pacific Rim Network の設立メンバーであり、国際河川ネットワークの共同代表理事を務めるとともに、NPO法人コミュニティ・デザイン・センター(関西)、京都コミュニティ・デザイン・リーグ、吉野川第十堰の未来をつくるみんなの会(2010年3月可動堰計画中止により解散が決定)ならびに台湾中原大学景観建築学科に対してアドバイスを提供している。



土肥 真人 Masato Dohi

1961年生まれ。東京工業大学社会理工学研究科准教授。博士(農学)。1993年に京都大学を卒業後、1993-94年にかけて、カリフォルニア州立大学バークレイ校客員研究員を務め、ランディー・ヘスター教授にコミュニティ・デザインを学ぶ。氏の著作「まちづくりの方法と技術ーコミュニティ・デザイン・プライマー」(現代企画室1997)はヘスター教授との共著であり、我が国における住民参加のまちづくりならびにコミュニティ・デザインの先駆者として多大な功績を残した。ホームレスや障害者、子どもや高齢者などの社会的弱者、あるいは鳥や昆虫などの小さな生き物と、共に生きることのできる、多様性をもつまちづくりを目指している。2010年より、世田谷まちづくりファンド運営委員長を務めている。

■コーディネーター



柴田久 Hisashi Shibata

福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授。専門は景観デザイン、まちづくり、環境計画。著書に『土木と景観ー風景のためのデザインとマネジメント』(学芸出版社)などがある。2009年9月より一年間、カリフォルニア大学バークレイ校環境デザイン学部にて客員研究員を務める。これまで数々のまちづくり計画やデザイン・プロジェクトに携わり、福岡県では宗像市の大島海洋体験施設「うみんぐ大島」(2011年度グッドデザイン賞受賞)、大分県津久見市の「湧水めだか公園」(2010年度キッズデザイン賞受賞)などがある。現在、南米コロンビア・マニサレス市におけるオリバレス公園の設計に携わるなど、精力的な活動を続けている。

■プログラム(逐次通訳有り)

18:00 開会挨拶・主旨説明

柴田久(福岡大学准教授)

18:10 基調講演1

「米国でのコミュニティ・デザインの実践」
ランドルフ・T・ヘスター
(カリフォルニア大学バークレイ校名誉教授)
マーシャ・マクナリー
(カリフォルニア大学バークレイ校特任教授)

18:50 基調講演2

「我が国におけるコミュニティデザインの行方」
土肥 真人(東京工業大学准教授)

19:10 休憩

19:20 パネルディスカッション

パネラー:ランドルフ・T・ヘスター
マーシャ・マクナリー, 土肥真人
コーディネーター:柴田久

■アクセス

福岡市営地下鉄 七隈線 福大前駅下車

西鉄バス 福大前バス停下車

福岡大学 A棟地下1階 AB01 教室

